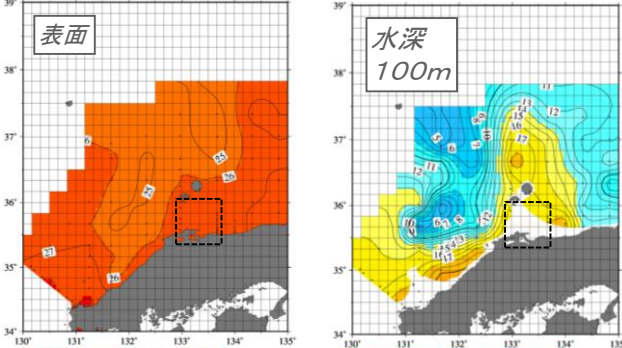
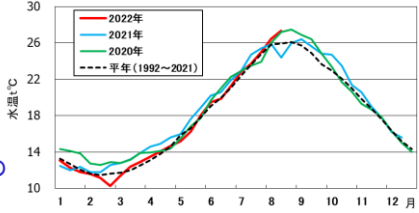




## 鳥取沿岸の水温

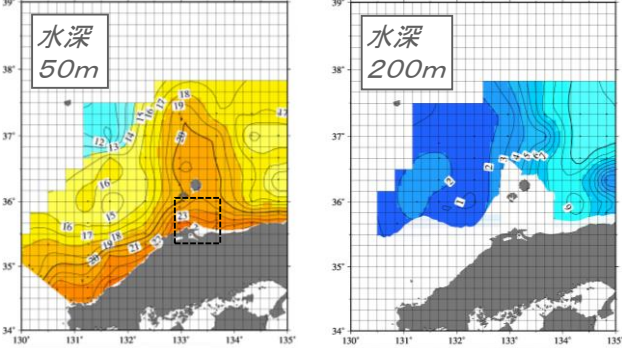
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽  
(電話:0858-34-3321)

8月中旬 27.3℃  
平年より 1.4℃高め



表面  
隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は26.6℃を示しています。  
【前年差:-0.82℃、平年(直近30年)差:+0.5℃】

水深100m  
平均水温は15.2℃(16~17℃)を示しています。  
【前年差:+1.85℃、平年(直近30年)差:+1.48℃】



水深50m  
平均水温は22.3℃(20~24℃)を示しています。  
【前年差:+2.15℃、平年(直近30年)差:+2.23℃】

水深200m  
鳥取県東部以東に10℃以上を示す暖水域があります。

## 水産試験場

境港総合技術高校海洋科の生徒対象の沖合漁業体験を実施しました。

スーパー農林水産業士の認定要件である沖合漁業体験を第一鳥取丸の試験操業で行っていただきました。実施したのは、沖合底びき網の解禁時に漁獲対象となるハタハタをメインターゲットとした着底トロール網で、漁獲物の選別、体長測定、漁獲サンプルの仕立てなどを体験していただきました。この経験が将来につながっていただけることを願います。



## お知らせ① 第一鳥取丸の主要機器故障で、調査に支障あり。9月のハタハタは期待薄

第一鳥取丸の主要調査である着底トロール網、桁網調査で使用するトロールウィンチが故障しました。修繕には時間を要するため、毎年8月に14調査点で実施している沖底漁期前試験操業は調査点1点のみの結果となります。

実施できた青谷沖の水深197m(北緯35度52分、東経133度44分)では、ハタハタが体長14~17cm台が主体で95.2kg入網し、オスの比率が高い結果となりました。兵庫県が実施した同調査において、第一鳥取丸の調査点より少し深い地点で100kg超えの採集があったようですが、この調査点以北での採集量は少なかったことから、まだ主群は鳥取県沖に來遊していないと考えられ、沖底解禁時には鳥取県沖でハタハタが漁獲されると推察しています。ただ、漁獲対象となるハタハタは、ほぼ2歳魚の1年級しかいないため、漁獲量は多くないと予想しています。また、比率は高くはないですが大型の『とろはた』はいます。問題は小さい個体(1歳魚)がいないことで、この年級が漁獲の主格を担う、年明け以降のハタハタの春漁に不安が残る結果となりました。

また、水深200mで水温が10℃以上と非常に水温の高い海域があり、例年とは異なる漁場形成となっている可能性があります。ハタハタの胃内容物の結果から、操業の際には、キュウリエソの反応をヒントに行っていたらと思います。キュウリエソを捕食しているハタハタ、スルメイカ等の入網に期待ができます。

## お知らせ② 大型クラゲは沖合域を移動に支障なし

6月に実施された水産研究・教育機構による東シナ海域における大型クラゲ分布調査の結果では多くの大型クラゲが確認され、昨年以上の来遊が少惧されていましたが、現状、鳥取県沖への来遊は少なく、沖底、小底、定置網で漁業被害を生じる事態にはならないと考えています。

令和4年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

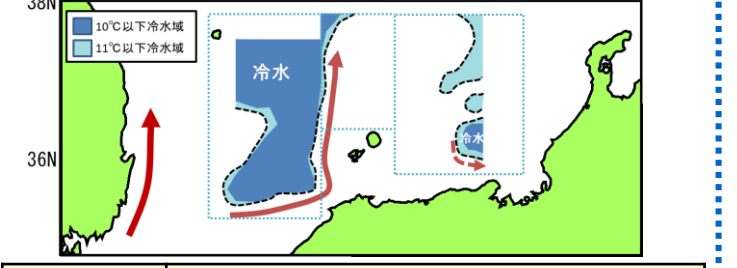
## 潮に夢を

### 共和水産株式会社

代表取締役 前橋 知之

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地  
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530

## 7月下旬の水塊配置と対馬暖流



|           |   |
|-----------|---|
| 鳥根沖冷水域    | N35° 30' 以北に11℃以下の冷水域が認められます。   |
| 隠岐諸島北方の冷水 | 鳥根沖冷水域の一部がN38° 以北に認められます。   |
| 山陰・若狭沖冷水域 | 兵庫沖N36° 以北に11℃以下の冷水域が認められます。  |
| 対馬暖流の流路   | 主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい、主流の一部が鳥根沖冷水域に沿って日御崎沖から北に向かい流れると考えられます。兵庫沖ではN36° 付近を東方に向かう流れが認められます。 |

\*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

## 境港水産事務所

鳥取県営境港水産物地方卸売市場2号上屋  
「境港おさかなパーク」9月オープン!  
食育・体験型観光にご利用可能な施設が2号上屋の2階にオープンしました。  
皆様のお越しをお待ちしております。

**無料施設** (利用可能時間) 午前5時から午後5時(どなたでもご自由にご利用ください。)



**有料施設** (利用可能時間) 午前8時30分から午後5時(利用には予約が必要です。)



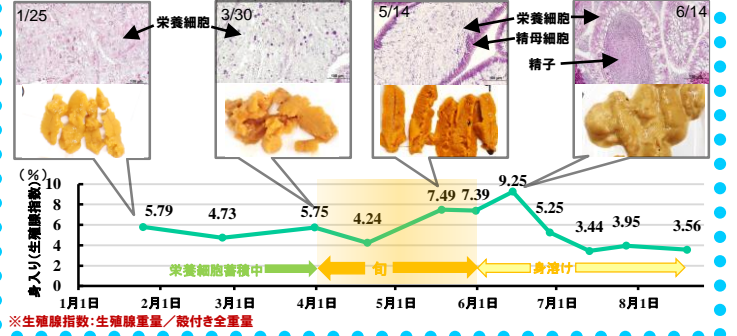
施設の詳細は境港水産事務所のホームページをご確認下さい。  
(URLを直接入力または、QRコードを読み込む)  
<https://www.pref.tottori.lg.jp/306227.htm>



## 栽培漁業センター

### ウニ養殖に向けて天然ウニの身入りを調べています!

ムラサキウニ(ウニ)は産卵期になると、生殖腺(身)が溶けて商品価値が低下します。これは、身溶けと呼ばれ、身に蓄えた栄養細胞が生殖細胞に置き換わる現象です。センターでは天然ウニの身入りの季節変化を明らかにするため、2022年1月から毎月、泊漁港のウニの身入りとその状態の変化を調べました。その結果、ウニは冬場に身に栄養細胞が蓄積し、身入りは6月中旬にピークを迎えますが、6月上旬には多くの個体が身溶けしていることが分かりました。泊漁港のウニの旬は4月から5月までと考えられます。今後とも出荷や養殖用ウニの採捕時期の参考とするため、沿岸のウニの身入りを調査していきます。



\*生殖腺指数:生殖腺重量/殻付き全重量

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

## 西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136  
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424  
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330